

イベント学会第17回研究大会

イベントサロン2014 大阪

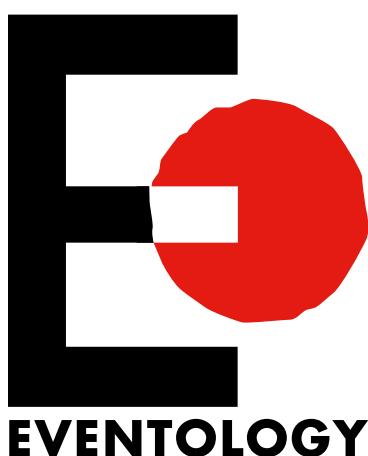


イベントサロン2014大阪 特集号

CONTENTS

イベントサロン2014大阪 イベント学会第17回研究大会

| | |
|--------------------|----|
| ・開催概要、開会宣言、来賓挨拶 | 2 |
| ・基調講演 | 4 |
| ・パネルディスカッション | 6 |
| ・交流パーティ、夜のエクスカーション | 11 |
| ・口頭発表 | 12 |
| ・ポスター発表 | 14 |
| ・イベント学会展示 | 15 |
| ・大会実行委員会 | 16 |



イベントサロン2014大阪 開催

イベント学会では2014年11月14日(金)・15日(土)の両日、「イベントサロン2014大阪」を実施いたしました。今回は、橋爪紳也大会実行委員長が特別教授を務める大阪府立大学の「I-siteなんば」を会場に、関西エリアの会員を中心に、2日間で延べ242名の皆様にお集まりいただきました。

テーマは「イベントと観光立国 歴史・都市・フェスティバル」。堺屋太一會長による基調講演、大阪を代表する観光拠点の関係者の皆様をお招きしたパネルディスカッション、会員による研究発表等を行いました。



テーマ 「イベントと観光立国 歴史・都市・フェスティバル」

- 会 場：大阪府立大学 I-site なんば
- 主 催：イベント学会
- 共 催：大阪府立大学観光産業戦略研究所、(一社)日本イベント産業振興協会
- 後 援：大阪府、大阪市、南海電気鉄道(株)、大坂の陣400年プロジェクト実行委員会
- 協 賛：伴ピーアール(株) カトープレジャーグループ

1日目 11月14日(金)

| | |
|--------|---|
| 13:00～ | 開会宣言 橋爪 紳也 大会実行委員長 (大阪府立大学特別教授 イベント学会副会長) |
| 13:05～ | 来賓挨拶 松井 一郎 氏 大阪府知事 |
| 13:10～ | 来賓挨拶 奥野 武俊 氏 公立大学法人 大阪府立大学理事長・学長 |
| 13:15～ | 基調講演 堀屋 太一 イベント学会会長 |
| 14:00～ | <p>パネルディスカッション ～大阪の「三塔物語」外国人観光客を呼び込む歴史都市の祝祭創造～ (モダレーター) 橋爪 紳也 (大阪府立大学特別教授 イベント学会副会長) (パネリスト) 北川 央 氏 (大阪城天守閣館長) 森岡 肇 氏 ((株)ユー・エス・ジェイ CMO執行役員 マーケティング本部長) 中之坊 健介 氏 (近畿日本鉄道(株) あべのハルカス事業本部事業部長)</p>  <p>(15:30終了)</p> |
| 15:45～ | 「まちライブラリー」ツアー(30分) |
| 16:00～ | 交流パーティ 会場：『Orquesta』 |
| 18:00～ | 夜のエクスカーション 大阪の水辺を楽しむナイトクルーズ (19:00終了) |

2日目 11月15日(土)

| | |
|--------|---|
| 10:15～ | 「まちライブラリー」ツアー(30分) |
| 11:00～ | 口頭発表 (ポスター発表口頭説明 12:00～12:50) (14:50終了) |
| 15:15～ | 「まちライブラリー」ツアー(30分) |

●開会宣言



橋爪 紳也
大会実行委員長
大阪府立大学特別教授 イベント学会副会長

世界で唯一イベントに関して学術的に研究しております、イベント学会の2014年の研究大会を開会するにあたり、ひととご挨拶を申し上げます。

今回のテーマは「イベントと観光立国」です。観光立国として2020年には2000万人の外国人観光客を迎えると、日本各地が観光客の誘致を競い合っておりまます。将来的には、観光大国として世界に誇るべき日本を目指さなければ

ならない。そのためにはイベントの力が不可欠である。堺屋会長がおっしゃるように「イベント・オリエンテッド・ポリシー」によって、観光客を呼び込む新たなイベントを考え、イベントを以て観光大国をつくりあげる心構えで進めるべきだと考えております。

副題としては「歴史・都市・フェスティバル」を掲げました。海外からの観光客は、都市の国際空港に降り立ちます。まず都市が魅力的でなければ、世界中の方には来ていただけない。我々は都市を魅力的にし、歴史を生かしながら、新たなフェスティバルを創出していくことを考えていかなければいけない。観光立国、観光大国の構築を、イベントに関わる私達がリードするという気概を持って、今日明日の大会に臨んでいただきたいと申し上げ、開会宣言といたします。

■来賓挨拶



松井 一郎
大阪府知事

皆さん、こんにちは。全国からお越しの皆さんに大阪府民を代表して心から歓迎したいと思います。今、隣におりますのが大阪府の副知事の「もずやん」です。今から20年以上前に誕生しましたが、広報宣伝への活用アイデアが行政では生まれません。その他にも多くのキャラクターがおりましたが、今回「もずやん」を副知事に任命して大阪の広報宣伝をするキャラクターとして一本化いたしました。皆さんにもぜひ「もずやん」を可愛がっていただき、イベントにお役立ていただけるようお願いいたします。

私は、都市の魅力の創造と発信こそ、世界の都市間競争に打ち勝ち大阪の成長を支える重要な取り組みであると考えています。そのため大阪府と大阪市が共同で「大阪都市魅力創造戦略」を策定いたしました。民間の方々と共に、フランスのリヨン市のリュミエール祭を目指す「大阪光の饗宴」や川が都市をロの字に巡る水の回廊を中心とした「水

都大阪」、大阪城公園と府内各地区を連携した「大坂の陣400年天下一祭」の「冬の陣2014」等の取り組みを行っているところです。さらに来年度は、シンボルイヤーと位置付け、大阪を訪れる方々が感動と興奮に出会える様々なイベントの開催を予定しております。どうぞ、楽しみにしていただきたいと思います。

また東京オリンピック・パラリンピックの開催や、大阪万博から50年目という節目の年となる2020年を見据え、大阪の魅力を高める取り組みを推進して参りますので、皆様方には引き続きご理解ご協力を賜りますように、心からお願い申し上げます。本日はありがとうございます。



副知事の「もずやん」もご来場。

■来賓挨拶



奥野 武俊
公立大学法人 大阪府立大学理事長・学長

本日は、第17回を迎えた研究大会をこの会場で開催していただき、大学を代表して心から感謝し御礼を申し上げます。

この場所は南海電気鉄道の本社ビルでありまして、2年前に橋爪先生から借りたいと相談を受けました。そして、2階は会議室にして、3階は大学院と本の無い図書館をつくりました。オープンした時は一冊の本も無かったです。新聞に

も掲載されました。こんな図書館をつくってどうするのか?と。しかし、今は大勢の方が集まり本を置いて行ってくださる仕組みで本が沢山集まり、図書館というよりは皆さんが集まる場所になっています。

この場所はI-siteという名称が付いています。学生達はみんな「愛してなんば」と思っています。大阪らしいですよね。

本日は東京から来られた方も多数いらっしゃると思いますが、「大阪に行く」ことを何と言いますか?地図などは東京の日本橋を起点にしていますし、列車は東京行きが上りです。道路もそうです。しかし昔は大阪を上方と言いました。ですから、今日は皆さんは大阪に上ってきたわけです、とひと言申し上げて私の挨拶にさせていただきます。

新しいイベントの概念の創出を提言

イベント学会会長 堀屋 太一



今日はイベント学会として、少々学問的な話もしたいと思います。私は1970年の大阪万博の後、沖縄県に駐在しました。そこで、ある外国人の観光プロデューサーから、かなり進歩した観光学を学びました。この概念について、お話ししたいと思います。

■ 沖縄振興のキーワードは「アトラクティブス」

沖縄に赴任したのは、1972年の5月15日の復帰の日。当時、佐藤栄作さんに復帰の成功の定義を質問したところ、ひと言「人口を減らすな」と。人口が減らなければ、住民が満足して生活していれば、楽しみもあることになる。沖縄の人口は当時92万人でした。それが15年間で4割になるという予測もありました。人口を減らさないために、職業も楽しみもなければいけないと、観光産業の振興に取り組みました。復帰の前年に沖縄県を訪れた人は、年間24万人で100万泊でしかなかった。これを10年間で10倍の240万人1000万泊にしようと。これくらいの規模になれば人口が減らないという計算をしました。

そこで、戦後最大のツーリズム・プロデューサーといわれたアラン・フォーバス氏に相談したところ、『「アレ」があるから沖縄に行きたくなる「アレ」をつくれ。』とのこと。この「アレ」をアトラクティブスと言うそうです。『アトラクティブスとは6種類。①歴史、②フィクション、③リズム＆テースト、④ガールズ＆ギャンブル、⑤風光明媚、⑥ショッピングだ。このうち3つを創れ。』といわれた。そこでまず、日本一世界一美しい沖縄の海に注目しました。そして沖縄民謡を流行らせた。ショッピングの充実を図り、現在の沖縄の市場等を整備した。このような努力をして沖縄海洋博を開き、一挙に沖縄の観光客が6倍になりました。以降、観光客は増え続け、14年目には目標の10倍となり、その後も増えました。今では年間600万人の観光客が訪れ、都道府県の中でナンバーワンになりました。成功の理由は、概念、コンセプトが優れていたからです。まず、コンセプトを必死に考える、これがイベント学の根本です。

■ イベントの成功は優れたコンセプトに尽きる

私は、これまで色々なイベントを手掛けました。上海万博は23年かけて中国政府を口説いて開催して、約7400万人が

訪れ大成功しました。まず相手にコンセプトを明確に知らせる、これが大事です。大阪万博の時も、開催が決定した時には会場が決まっていなかった。千里丘陵の約100万坪の土地を100日で購入しなければならない。東海道新幹線も東名高速道路も名阪高速道路も走っていて、土地買収が難しいところです。しかし、交渉時に概念を説明したところ、たちまち住民の賛同を受けて購入できました。当初3000万人と予測されていた入場者数も約6422万人となり、大きな黒字を出して成功を収めました。ことごとく最初の概念が功を奏したわけです。

■ 低下する日本のイベント能力

当時に比べて、現在の日本はイベントの企画力が非常に低下しています。それは、概念を考えないで注文を取ることばかり考えているからではないか。オリンピックの概念も、クーベルタンから始まり世界的なものに成長した。イベントの概念を考えても、周囲の反対や資金の面で実現は困難かもしれない。しかし、実は概念（コンセプト）が大事なんです。そして一番難しい。ここ数年、博覧会もほとんど開かれなくなり、イベントをする能力が非常に低下している。概念をつくる人がいない。特に21世紀になってからは、新しい概念が生まれなくなりました。昔の考え方を仕立て直すだけです。これは日本社会の低迷、衰えを感じざるを得ません。

■ 大きくて新しいイベントを考えよ

イベントを考える時には、「大きなイベント」を考えてください。シカゴの万国博覧会を2回行って成功したバーナムが名言を残しています。“大きなイベントを考える。小さなイベントは魅力がないという意味で非現実的である。”小さいイベントで少しづつお金を使うと赤字になり印象も残らない。これは絶対に避けなければいけない。ところが、小さいイベントは開催しやすいと思って飛び付く。実際は意味がない。これはとても怖いことで、イベントが衰退していく原因です。大きいイベントは必ず黒字になります。だから大きなものを考えてください。

■ 高齢化社会こそ「楽しみの学術」

今は高齢化社会で、高齢者ほどお金を持っています。

1600兆円の金融資産のうちで1000兆円は65歳以上の人方が持っています。しかし、高齢者を喜ばせるイベントが少ない。これを考えなければいけない。若者市場は人口の比率も小さく、お金を使える余裕もありません。若者を追いかけるのは止めて、高齢者が集まるものを考える。運動能力にも限界があり興味も限られている高齢者を、喜ばせるような行事をつくるなければいけない。ぜひ、高齢者を呼び込むような企画の概念を考えてください。そのためには、楽しみの経済学をきちんとつくるなければいけない。これはイベント学会の大きな仕事だと思います。

イベント学というと警備計画や道路の建設や植栽計画などのHow toになってしまいます。それは、植物学や交通学を利用すればいいんです。イベント学の一番大事なことは概念をつくることです。それを広めること。そして、それにふさわしい人を育てること。このことを一つの前提に、私から新しいイベントの概念を提案させていただきます。

■ 東日本大震災から5年の新イベント

再来年の3月に、東日本大震災の発生から5年が経過します。過去の大災害では、関東大震災から5年目に帝都復興大博覧会が開催されました。これは後藤新平さんが提案し、東京の街が立ち直って発展した。1995年に起こった阪神淡路大震災では、2000年に淡路花博を開催しました。私は政府の復興委員として、道路や復興住宅の建設などを神戸の街に泊まり込んで取り組みました。そして、淡路で花と緑の博覧会を開き、本四架橋を活用して大きな博覧会になりました。

東北は、被災地が広域なので1箇所に会場を絞ることは難しい。それで、10箇所で移動博覧会を開く。40フィート級、長さ12.5m幅2.4m高さ3.2mのコンテナを100台くらい用意して、各企業に出展していただく。これを電気自動車で牽引します。会場では、夜間電力で充電して日中の冷房や照明に活用します。このコンテナを開いて展示場や舞台にして、テントをかけた観客席をつくる。24時間で建て替えられるものをつくる。100台くらいが電飾をして高速道路を走行すると、いい宣伝になるでしょう。10箇所の会場で、600万人くらいの入場者が集まるでしょう。会場は、各県や市で充電器を付けた駐車場を整備していただく。出展者はそれぞれアイデアを絞っていただく。ロボット演劇、唄や踊り、液晶を使った展覧会もいいですね。全く新しい概念の博覧会が生まれます。総経費として10箇所で開催すると、私の計算では800億円くらいになります。各会場の開催期間はオリンピックと同じ15日。地域効果、電気自動車の技術開発効果、産業効果、文化効果の大きなものになるでしょう。

■ 2025年日本万国博覧会の提唱

もう一つは、2025年に大阪での万国博覧会の開催です。国際条約が新しくなり、万国博覧会は5年に1回の開催が原則になりました。2010年は上海、2015年はミラノ、2020年はドバイに決定していますが、2025年は日本にチャンスが



あります。先日、千里の万博記念公園に見学に行きましたが、ほとんど手つかずの状態で残っています。アメリカのニューヨークは1939年に万国博覧会を開き、手つかずのまま残っていた敷地で1964年にもう一度開催した。それと同じ条件です。千里の会場でもう一度万国博覧会を開くことで、非常にローコスト、ハイリターンの行事になるでしょう。

この博覧会のテーマは好老社会。老を好む社会を実現する。環境と新文化を創造するような概念を打ち出す。前の大阪万博は、規格大量生産日本という概念で「人類の進歩と調和」がキャッチフレーズでした。皆さんも一度、老を好む好老社会とはどんな社会なのか考えてみてください。日本だけでなく、韓国、中国、ヨーロッパ諸国も、やがて高齢社会になります。好老社会の概念を考えるのは、近代工業社会の好若嫌老社会に生きた人間には難しい。ぜひ皆さんで知恵を絞っていただきたい。そして、万国博覧会を開くことで自然の保護に役立つような行事にしたい。開発が、伐採ではなく自然の保護に役立つような概念をどのようにつくるかを、ぜひコンセプトを考えていただきたいと思います。

最後に、イベント学会として新しいイベント学を学問体系としてつくるべきです。イベントの事業をしている企業も、あまり概念の話はしませんね。事業をつくるためにはまず概念から。それから人がいて、技術が集まって最後にお金です。一番難しいのは何をやるかという概念ですね。これを生み出せるような論理を、頭の中で考えるだけではなく、創造のマトリックスをイベント学会でも、各大学でも考えていただきたい。ぜひ、本日を契機に取り上げていただきたいと思います。

堺屋 太一 (さかいや たいち) イベント学会会長

1935年大阪生まれ。東京大学経済学部卒業(1960年)後、通商産業省入省。日本万国博覧会の提案、企画・実施に携わる。沖縄開発庁に出向中には沖縄国際海洋博覧会や観光開発を手掛けた。1962年通商白書では「水平分業論」を展開し、世界的に注目される。1978年に退官。作家として予測小説手法を開発、「油断!」「団塊の世代」「平成三十年」等のベストセラー小説の他、歴史小説「巨いなる企て」「峠の群像」「豊臣秀長」「世界を創った男 チンギス・ハン」等を執筆。また、1985年に出版した経済理論「知価革命」は世界8カ国語に訳され、国際的評価を得ている。

1998年7月～2000年12月まで経済企画庁長官を務める。2010年上海万国博覧会日本産業館代表兼総合プロデューサーを務め、好評を博した。現在は内閣官房参与、大阪府及び大阪市特別顧問を務める。

大阪の『三塔物語』 外国人観光客を呼び込む歴史都市の祝祭創造



パネリスト

北川 央 氏
大阪城天守閣館長

森岡 毅 氏
(株)ユー・エス・ジェイ CMO執行役員 マーケティング本部長
中之坊 健介 氏
近畿日本鉄道(株)あべのハルカス事業本部 事業部長

モデレーター
橋爪 紳也
大阪府立大学特別教授 イベント学会副会長

橋爪 「アレ」があるからわざわざ大阪に行くアトラクティブなもの、それが3つのタワーではないかと考え、このようなテーマにしました。日本の人口が減少する状況の中、国内旅行者数も減少が続き、これが観光業界や観光学の間で最大の問題になっています。一方で、外国人観光客は増加を続け、2013年に年間1000万人を突破しました。2020年には2000万人を大きく上回ると推計しています。2011年に、初めて年間の海外旅行者数が10億人を突破しました。2030年には年間18億人が海外旅行をすると予測されています。世界中で大観光時代、海外旅行の大ブームが巻き起こっています。それも東南アジアが急激に伸びています。

そこで大阪城です。大阪に来られる外国人観光客の多くは大阪城に出向きますが、大阪城を観光することを大きな理由に、わざわざ日本に来る方はなかなかおりません。私はそこを変えたい。現状では、日本で東京と京都には必ず行きたいという前提があり、東京と京都を含むルートの一つとして大阪に滞在、さらに大阪城に訪問するという流れになっていると思います。この状況を変えるためには、大阪城を世界的に有名な魅力ある観光地、観光目的地にしなければいけないと考えました。

そのためには歴史を活かしたフェスティバルが必要でしょう。例として、エジンバラのミリタリータワーを紹介します。スコットランド軍と世界各国の軍隊による合同の大イベントを、毎年約1ヵ月間ほど開催しています。都市の一部分である公共空間を、毎日ショーを開催するために暫定的に封鎖し、スタンドを組んで観光客を集めています。このように公共空間で何か新しいイベントをしたい。さらに、大阪城をアイコンとして世界から注目を集めたいと、私が実行委員会に入り「レッドブル・エックスファイターズ・ワールドツアー」というモトクロスのイベントを、昨年大阪で実施いたしました。大阪

城の西の丸という特別史跡の中で、文化庁の許可と行政の理解を得てイベントが実現しました。主催者側としては、モトクロスの試合を世界に配信する画面の背景に、アイコニックな、世界の人がアッと思うような風景が必要であるという話でした。これで世界中の何億人のモトクロスファンにとって、大阪城は憧れの場所になったわけです。

今年から来年にかけて、「大阪の陣400年祭」も展開しています。12月には3Dマッピングもございます。これらのイベントをきっかけに、大阪城が世界の人が憧れ、一生に一度は訪れてみたい名所のリストの中に加わるような場所にしたい。さらに、大阪城を中心に大阪府下全体に観光客が巡るようなイベントの準備を進めています。では『三塔物語』の一塔目として、大阪城のお話を北川先生にお願いします。

プレゼンテーション1 北川 央 氏



慶長3年(1598)8月18日に豊臣秀吉が亡くなると、わずか2年後の慶長5年9月15日に関ヶ原合戦が起こり、徳川家康が勝利しました。3年後の慶長8年2月12日に家康が征夷大将軍になり、幕府を開きます。一般にはこの日から江戸時代になったと思われています。その後も、大阪城には豊臣秀頼が健在でしたが、現在の大阪府よりも少し広い地域を領する一大名に転落してしまったといわれます。ところが、一

北川 央 (きたがわ ひろし) 大阪城天守閣館長

1961年大阪府生まれ。神戸大学大学院文学研究科修了。1987年に大阪城天守閣学芸員となり、主任学芸員・研究副主幹・研究主幹を経て、現在館長。この間、神戸大学・大谷女子大学・東京国立文化財研究所・国際日本文化研究センター・国立歴史民俗博物館、国立劇場など、多くの大学・博物館・研究機関で講師・研究員・委員を歴任。現在は、関西大学大阪都市遺産研究センター研究員、大阪市都市整備局上町台地マイルドHOPE ゾーン協議会理事などを兼ねる。織豊期政治史ならびに近世庶民信仰史、大阪地域史専攻。

著書に『大阪城ふしぎ発見ウォーク』(フォーラム・A)、『江戸・明治のチラシ広告 大阪の引札・絵びら』(東方出版、共著)など多数。

研究活動の一方で、一般市民向けの講演会や執筆活動にも注力し、現在は産経新聞(大阪本社版)に「大阪城 不思議の城」を連載中。『そのと

き歴史が動いた』(NHK)、『歴史街道』(朝日放送)をはじめ、多くの歴史番組・時代劇などを監修。現在も『歴史秘話ヒストリア』(NHK)、『歴史ろまん紀行』(eo 光テレビ)などに、頻繁に出演している。

『熊野街道ウォーク』(京阪電鉄・南海電鉄などと共に)など、大規模な歴史・文化イベントも数多く企画。現在は大阪の陣400年プロジェクトを推進する。ミュージカルや舞台作品も数多く手がけ、映画『プリンセストヨトミ』の歴史監修も務めた。



大名の秀頼は幕府の命令に従わないため、ついに幕府は豊臣家を滅ぼす戦争を起こした。これが大坂の陣だと言われてきました。ですから、関ヶ原合戦こそが歴史の転換点であり、大坂の陣は「前代の遺物」ともいべき豊臣家が滅ぼされた戦に過ぎないとされてきたのです。

ところが、今から20年前、大阪城天守閣で豊臣秀頼の生誕400年を記念した「豊臣秀頼展」を開催し、それに向けて秀頼の研究を始めると、当時の史料からは我々が習ってきた歴史とは全然違う秀頼時代の豊臣家の実像が浮かび上がってきたのです。まず、一つの事例として、毎年正月になると、京都から天皇の遣いである勅使、そして親王、門跡、公家が全員残らず、秀頼の元に挨拶に来ています。大坂冬の陣が起る慶長19年になんでも相変わらずこうした挨拶が行われています。秀頼が一大名だったならば、このような事はおそらく起り得なかつたでしょう。

最近、歴史学会では「徳川史観」という言葉が使われるようになってきていますが、我々はずっと徳川幕府にとって都合のいい「徳川史観」にとらわれてきたのです。秀頼は決して一大名ではありませんでした。家康が征夷大将軍になる直前の慶長7年の年末の時点で、朝廷は秀頼を閑白にし、家康を將軍にするつもりでいたことも分かりました。家康が就任した將軍という地位は絶対的なものではなく、閑白と將軍は並立するものと認識されていたのです。そして秀頼は、いつ閑白になるかもしれないという存在でした。秀吉は死ぬときに、秀頼が成人するまでの間、家康に政治を任せると遺言していますが、慶長19年の時点では秀頼は22歳。十分政治を担える年齢に達し、秀吉の遺言に従うならば、家康は秀頼に政権を返さなければならぬ時期が来ていたのです。当時日本と交易をしていたスペイン、ポルトガル、オランダなどの史料を見ると、彼らは誰がこの国の支配者かを冷静に見ていて、現在の皇帝は徳川家康だと言っています。でも一方で、正当な皇帝は豊臣秀頼だとも書いています。そして家康が死んだら、次の皇帝は秀忠か秀頼のどちらになるかわからないと言い、双方に同じように贈り物をしています。大坂の陣から400年を迎えるこの機会に、秀頼時代の豊臣家を再評価し、大坂の陣という戦いの意味について、あらためて考えたいと思っています。

さて、大阪城天守閣の一番の長所は、お城そのものが博

物館であり、しかも大阪城の歴史と豊臣秀吉が活躍した時代の専門博物館であるということです。ふつう博物館は、さまざまな企画展を次々と行うため、中にいる学芸員の専門性は十分に担保されませんが、大阪城天守閣の場合、学芸員もそのテーマの専門家ばかりです。また昭和6年に開館してから83年間活動を続け、しかも専門博物館として運営されてきましたので、館蔵品のコレクションも、豊臣時代の資料群としては日本で一番の質量を誇ります。おおよそ一度に展示するのが150～200点で、2ヶ月に1度のペースで新しい展示内容に更新しています。私が大阪城天守閣に勤務して既に27年が経ちますが、この間一度も同じ展示をしたことがないというのが、私のいちばんの自慢です。

大阪城天守閣は構造上、上層階に行くほど狭くなり、エレベータもありますので、1日の入館者には限界がありますが、それでも年間160万人を越える数字は、博物館として日本で有数の来館者数です。最近は、平日でも行列ができ、GWなどのハイシーズンにはずいぶん待っていただかなくてはなりません。外国人観光客の比率も年々増えています。1990年には展示解説を完全に英文併記にしました。英語圏以外のお客様も多いのですが、一つの展示品に多言語を併記することは難しいので、4カ国語のイヤホンガイドをつくって対応しています。大阪城天守閣ではこのイヤホンガイドを無料で貸し出しています。スタッフも多言語で応接ができるような体制にして、外国人観光客の増加に対応しています。

このように大阪城天守閣には本当に沢山の人がお越しいただくのですが、天守閣だけを見て帰られる方が多く、たいへん残念に思っています。城場内には、江戸時代からの建物で、重要文化財に指定されている櫓や門が13棟もあり、他にもいろいろと見どころがございます。回遊性を高めて、大阪城の魅力をご堪能いただきたいと思っています。大坂の陣で落城した後、徳川幕府は秀吉の大坂城の石垣を全部地中に埋めて、その上に今の大阪城の石垣を新たに築きました。ですから、大阪城の地下には秀吉の時代の大坂城が眠っているわけです。落城から400年という絶好の機会に、400年ぶりに秀吉の石垣を見ていたらどうと、現在、地下ミュージアム構想を進めています。こうした新しい大阪城の魅力も創出していきたいと考えております。

森岡 豪 (もりおか つよし) (株) ユー・エス・ジエイ CMO 執行役員 マーケティング本部長

1972年生まれ。神戸大学経営学部卒。96年P&G入社。日本ヴィダルサスーン、北米パンテーンのブランドマネージャー、ヘアケアカテゴリー・アソシエイトマーケティングディレクター、ウエラジャパン副代表などを経て、2010年ユニバーサル・スタジオ・ジャパンの運営会社に入社。12年より同社チーフ・マーケティング・オフィサー、執行役員、本部長。「金がない、人も足らない、時間もない」という状況の中で、後ろ向きに走るジェットコースターや生存率0.004%のサバイバルホラー・アトラクション、パークをゾンビで埋め尽くすハロウィーンなど、革新的なアイデアを次々に投入し、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンをV字回復させる。著書の『USJ

のジェットコースターはなぜ後ろ向きに走ったのか?』(角川書店、2014年)ではその舞台裏とV字回復をリードした著者のアイデア発想法を紹介。さらに「The Wizarding World of Harry Potter (ウィザーディング・ワールド・オブ・ハリー・ポッター™)」の導入の裏話や見どころも。



プレゼンテーション2

森岡 豊 氏



まず近況をご報告しますと、ハリー・ポッターをスタートしてから単月の集客が4ヵ月過去最高を推移し続けています。7月14日にイベントを行い15日にグランドオープンしたので、7月は半分しかハリー・ポッターは開けておりません。それでも開業年度の2001年の数字も超えて、87万人という記録を更新し、8月は単月で133万人と開業年度の記録を更新しました。9月は135万人、10月は146万人と非常に好調に推移しています。

我々はもちろん、会社の成長戦略に従って進んでいます。また、株主や出資者の期待に応えなければなりませんので、絶対に失敗はできません。何百億円のリスクを小さな会社が背負ったことで、人員整理を行いながらプロジェクトの数を32倍に増やしました。だから、大儀がないと体がもたないんです。会社や個人の都合を超えた大きな目標がないと、奮い立たないんです。堺屋会長のコンセプトのお話には非常に共感しました。コンセプトは求心力と言ってもいいですね。今の我々を支えているものです。

この好調の要因の一つは、遠方集客の強化です。関西以外の来場客が去年から倍増しております。宿泊パッケージも倍増しているので、交通業界、宿泊業界、お土産店も飲食店も全部、テーマパークが栄えると紐づいて様々な経済効果があるわけです。日本経済のために、もっと貢献させていただきたいと思っております。

ちなみにハロウィーン・ホラー・ナイトというイベントが先日終わりましたが、10月の集客が70万人強だったところが、このイベントを始めてから140万人超となり2倍に伸びました。大ヒットのイベントです。

2014年度の来場者予測はおそらく1200万人は超え、開

業年度を大きく上回ると思います。私は、ハリー・ポッターで200万人増やすと大儀のためにあちこちで話してきました。それは7月15日から丸1年間で200万人増やすという意味でしたが、今の段階は今年度の3月末までに目標が達成できそうな勢いです。

海外からの集客については、約1.8倍増えています。昨年は60万人くらいだった外国人観光客が、今年は100万人に手が届くペースです。もし本当に100万人の誘客に貢献できれば、1000万人の外国人観光客の10人に1人がUSJに来ている規模になります。これくらいインバウンドを引っ張ってこないと、首相官邸にもお世話になり、安倍首相にもご来場いただいた恩返しができない。この成功は、USJの力ではないんです。USJの挑戦に、意義を感じてくださった多くの方々のご支援で、成功させていただいている自覚であります。観光をドライブしていくために、国ためのエンジンになりたいと思っています。口幅ったい言い方ですが、我々のためだけに働くのではない。大儀というのは何なのか?観光業の使命である人を動かすことによって、社会を活性化させることではないかと感じています。

USJのイベントは、狙いを明確にして実施しています。狙ったところにサイコロを出すようにしている。予測に対して、ほぼぴったりの来場客をお迎えしています。需要予測を当てる力は、冷静な数学なんですね。それが分り需要予測が定まる、様々なことが可能になります。来場者数によって、必要なスタッフの人員や物品の仕入れにも過不足がなくなります。狙ったところにサイコロの目を出す力を持った人間が、イベントを成功させることができます。そのノウハウに興味がございましたら、後程私に話しかけてください。

プレゼンテーション3

中之坊 健介 氏

今日は3月7日に開業した、あべのハルカスの開業イベント等と、今後の計画についてお話したいと思います。あべのハルカスは、高さが300mで日本一のビルとなりました。この計画を2007年の夏に発表した際に、報道の方から「阿倍野、天王寺に日本一?大丈夫なんですか?」という冷ややかなお褒めの言葉をいただきました(笑)。我々もチャレンジングだと思っていましたが、何とか無事に開業し、賑わいを出そうと進めているところです。半年経った9月の時点で2200万人

中之坊 健介 (なかのぼう けんすけ) 近畿日本鉄道(株)あべのハルカス事業本部 事業部長

昭和 62 年 3 月 京都大学法学部 卒業
 昭和 62 年 4 月 近畿日本鉄道(株) 入社
 昭和 62 年 9 月 近鉄不動産(株) 出向
 平成 9 年 11 月 アメリカ近鉄興業(株) 出向
 平成 11 年 11 月 アメリカ近鉄興業(株) 課長
 平成 14 年 8 月 近畿日本鉄道(株) 開発事業本部 賃貸事業部 課長
 平成 16 年 12 月 近畿日本鉄道(株) 秘書広報部(広報) 課長
 平成 19 年 6 月 近畿日本鉄道(株) ターミナル開発事業本部 企画調整部 課長
 平成 21 年 11 月 近畿日本鉄道(株) ターミナル開発事業本部 企画調整部 部長
 平成 25 年 6 月 近畿日本鉄道(株) あべのハルカス事業本部 事業部 部長(現職)



の来場で、ほぼ予定通りの数字です。目玉施設の展望台の「ハルカス 300」についても、年間 180 万人の予定をしておりましたが、既にその数字を超えて 11 月末には 200 万人を達成できる見通しです。

開業イベントについては、1 年ほど前からビルの照明を使って開業日までの日数をライトアップする、カウントダウンイベントで PR を続けました。東京からも注目していただこうと、東京スカイツリーとのエールの交換イベントも行い、ソラカラちゃんにも来ていただきました。3 月 7 日のオープンを控えた 1 月 15 日に 300 m の成人式を行い、100 名の新成人に 1700 段ほどある階段を 1 人の脱落者もなく無事に昇っていただきました。

3 月 7 日から 3 日間行った開業イベントは、「ハルカス花咲く誕生祭」というネーミングで実施しました。阿倍野、天王寺はキタやミナミに比べて知名度が低いので、地元にこだわったイベントを行いました。阿倍野、天王寺の新たな街開きにしようと、街つなぎテープカットを行いました。ハルカスは複合ビルで色々な機能があります。事前にオープンした百貨店以外の、ホテル、美術館、展望台の開業日を同日にして、各々のフロント周辺でテープカットをしましたが、街にもテープを伸ばしていく 3000 m の 1 本のテープを回していました。これも日本一として記録されています。8 会場で同時にテープカットを行いましたが、モニターで同時中継をして、ご来場のお客様にもアピールしました。テープカットも地元の人々にこだわり、区長、四天王寺の副管長、阿倍王子神社の神主さん、地元の商店会長、町会長、展望台には地元の小学校 6 年生の子ども達でテープを切りました。交通ターミナルでもありますので、各駅長にもカットをお願いしました。

58 階でウェディングイベントも行いました。上の 60 階から一般の方に祝福していただくウェディングで、メディアの方に

も沢山来ていただきました。新郎新婦に「日本一のビルでの結婚式はどうでしたか」と聞いたところ、新郎が「我々の愛は世界一ですから」と言っていました(笑)。7 月には盆踊りイベントも実施しました。地元に声を掛け、ハルカスのオフィスにも声を掛けたところ、浴衣着用が参加条件にもかかわらず 200 名以上の参加者でした。皆さん浴衣を着て何かをしたいと思っていたようなので、来年も実施したいと思っております。

これからの大規模なイベントはクリスマスです。11 月 6 日から装飾を始め、イベント自体は 11 月 20 日以降に「星に奏でるクリスマス」ということで、展望台をはじめハルカスの各所で音楽関連のイベントを計画しています。ハンドベルのイベントやゴスペル大会など色々なことを予定しています。

今後は、天王寺公園の運営管理を近鉄が受託いたしましたので、中央にある大きな芝生広場で 1 万人規模のイベントを実施したいと考えております。パブリックビューイングや大盆踊り、冬場の光のイベント等、天王寺公園を活用した地域イベントの実施を計画しています。

■ディスカッション

森岡 毅 氏／中之坊 健介 氏／橋爪 紳也



橋爪 それでは森岡さんと中之坊さんに意見交換をお願いしたいと思います。他の街とは違うイベントができるのが大阪だと思いますが、これから何をすべきかご意見をいただきたいと思います。

森岡 私も大阪の人間ですが、大阪の人は大阪、大阪、と言い過ぎですね。結果的に大阪に人が来ればいいわけで、目的が何なのかを戦略的に考えた方がいい。外国人から見た日

本の都市は、まず東京、そして次は残念ながら京都なんですね。マーケティングの視点で考えると、大阪は京都の一地方にしてしまえばいい(笑)。関西国際空港は、京都国際空港に変えればいい。大阪は京都まで電車で30分の距離なので、京都のエリアでもいいじゃないですか。そうすると東京との差別化ができます。みんなバラバラで大阪のことを考えている。合理的に考えれば、関西全体を考えた広域の戦略が欠かせないと思います。

中之坊 私も、大阪は無理している印象を受けます。ハルカスが日本一になったことで、想像以上のインパクトを感じています。「2位じゃ駄目なんですか」という人がいましたが、やはり駄目だと(笑)。ビルがオープンしてすぐに、三菱地所と森ビルのトップが見に来られました。ですから、大阪、大阪と無理に言わずとも、やるべきイベントをしていれば注目をされると思いますね。

橋爪 USJの周囲は近鉄のホテルが多いですが、最近は仲がよろしいんですか。

森岡 ずっと仲良しです。いつも秘密の会話をしています(笑)。
中之坊 先日の調査でも、ハルカス300に来て次にどこに行きますか?と聞くと、一番は通天閣、その次がUSJです。既にUSJに行かれた方が来ているケースもあるので、仲良くしていこうと思っています。

森岡 大阪の観光資源は探せば沢山ある。ここから半径100kmのエリアの、あらゆるものを取り込めるわけですよね。その中にあべのハルカスと大阪城と、当パークがあるので、できるだけ協働してグランド戦略を構築し、エリアとして集客するために一番効率がいい手法をとることが大事だと思います。私自身も自戒の念を込めて申し上げますが、様々な観光資源となる皆様が、各々頑張っていても横のつながりが下手なんです。競争相手の一つは東京ですが、それよりもソウル、香港、シンガポール等と競争して勝ち残る視点での大戦略が必要ですね。

橋爪 大阪は1泊の方が多いようですが、2泊3泊できるような形を考える上で連携は大事だと思います。

中之坊 台湾やアジアからの観光客は平均4泊が多いと聞きますので、2泊3泊は京都や東京に取られていても、1泊伸びるのは十分できるかなと。そうしないとUSJに行って終わってしまう(笑)。大阪の宿泊を増やすことは十分可能だと思います。

森岡 一つのアイデアとして、当パークに来たインバウンドの皆様を、どこかの百貨店に誘導すると、もの凄くお客様が増えるはずです。弊社は海外旅行代理店と共同企画でパッケージを組む力があるので、その中に百貨店ショッピングを組み込めば、自動的に何十万の人を百貨店に狙い打ちで送り込むことができる。日本でお金を落としていただくために、誘客、送客のデザインが必要だと思います。当パークで使うお金は、彼らの海外旅行の予算の1割にも満たないので、まとめたお金をどこかで落としている。それを、日本経済のために都合のいいルートでデザインすることができれば、日本人として

はハッピーですよね。

橋爪 私は京都市の観光のビジョンをつくりましたが、2010年に観光消費額1兆円を目指すと謳いました。行政は、ハイエンド層やラグジュアリー層をターゲットにした、クオリティの高い観光戦略を立てることが苦手です。そこで私は京都はハイエンド層にうったえる世界一の観光都市を目指すと謳っています。森岡さんがおっしゃった、大阪を京都の一部と考えるという話は外国人観光客が持っている海外で発行されたガイドブックでは、そもそもそのような扱いですよね。内容の過半は東京で、後半は京都。大阪は京都の一部として小さく記載がある。大阪だけではなく、関西全体で戦略が必要であると私も共感いたします。最後に、ご来場の皆様に向けてひと言メッセージをお願いします。

中之坊 ハルカスは展望施設などでイベントをすると話題になりますが、今後は集客が課題だと感じています。もう一つは、天王寺公園のエントランスの整備です。大阪市からも7000m²ある芝生広場でどんどんイベントを開催してリニューアルをしたい、とのご依頼ですので、本日お集まりの皆様を含め色々なアイデアを提案していただき、「天王寺はいつも何かやっているね」「外国人も大勢来ているね」と言われるような1年にしたいと思います。

森岡 皆様と同様に、イベントでは私もとても苦しんでいます。その中で、私共が心掛けているのがやりっ放しを止めることです。全てのことは因数分解なので、数式化して狙ったところで狙った数字を出す。1年目は80%の精度だったものが、ちゃんと学べば次は90%と、どんどん確率が上がります。だから、毎年やればやるほど賢くなっていく。我々は3年の間に、95%以上の精度に辿り着きました。狙ったように集客ができると、やりがいが出ますし、投資案件も通しやすくなります。何よりも人々の期待を裏切らず、期待に応えながら社会に恩返しができる。イベントの使命が果たせるので、やりっ放しにせずに学ぶ姿勢を続けています。皆さんにも是非ご利用いただきたいと思います。

橋爪 本日は誠にありがとうございました。

橋爪 紳也 (はしづめ しんや) イベント学会副会長

大阪府特別顧問・大阪市特別顧問

大阪府立大学 21世紀科学研究機構教授

大阪府立大学観光産業戦略研究所長

国際日本文化研究センター客員教授

1960年大阪市生まれ。

京都大学工学部建築学科卒業

京都大学大学院工学研究科修士課程修了

大阪大学大学院工学研究科博士課程修了

建築史・都市文化論専攻。工学博士。

各地で市民参加型のまちづくりや地域ブランド創出事業を実践。『俱乐部と日本人』『明治の迷宮都市』『日本の遊園地』『集客都市』『モダン都市の誕生』『飛行機と想像力』『広告のなかの名建築 関西篇』『瀬戸内海モダニズム周遊』ほか、都市や建築に関する著書・編著は50冊を越える。

大阪府市文化振興会議会長、京都市観光振興審議会会長などを兼職。大阪・光の饗宴総合プロデューサー、大阪の陣400年プロジェクト実行委員長などを務め、大阪を始め各地の都市開発および集客イベントに携わる。ディスプレイデザイン研究大賞、エネルギーフォーラム賞優秀賞、大阪活力グランプリ特別賞など受賞。



交流パーティ

レストラン「Orquesta」にて実施した交流パーティは、堺屋会長の挨拶、成田理事長の乾杯でスタート。賑やかで楽しい交流のひと時となりました。



「ぜひ皆様に「好老社会」のイベントを提案していただきたい」と挨拶を述べる堺屋会長。



ご来場の皆様に感謝の言葉を述べ乾杯の発声をする成田理事長。



会場を賑やかにしていただいた、伝統芸能南京玉すだれ ようちゃん一座の皆様。



会場を盛り上げた大阪検定クイズ。上位回答者には、橋爪実行委員長の監修する公式テキストを進呈した。



夜のエクスカーション

交流パーティ終了後に道頓堀川や中之島など大阪の水辺の風景を楽しむナイトクルーズを行いました。



口頭発表

11月15日（土）の口頭発表には15名16題の研究成果の発表が行われました。



■A会場

第1グループ

橋本 真人 (株)博報堂関西支社

慢性疾患の患者さんを元気づける
集合イベントの可能性
～「朗読で元気をつなぐプロジェクト」～



橋本 真人 (株)博報堂関西支社

龍谷大学農学部「龍谷農と。」
「食の循環」再生への教育機関の役割



座長：澤内 隆



瀧澤 延匡 (株)上野振興公社

上野村学(教育体験イベント)がもたらす、
将来展望への変化



第2グループ

井田 和広 スカイランタン研究会

夜空を舞台にした、新たなイベントの価値を
創造し可能性を探る
日本の夜空にスカイランタンを灯す



Justin August サクラインターナショナル(株)

日本の常識、世界の非常識 ～展示装飾版～
海外展示案件についての事例紹介



座長：宮木 宗治



柳澤 博之 (株)博報堂

可能性を広げるイルミネーションイベント
～ 東京スカイツリータウンの事例報告～



第3グループ

貝辻 正利 神戸大学大学院工学研究科研究員

イベントを安心して楽しんでいただくために
～イベント企画段階での安全評価～



イアン・フランク 公立はこだて未来大学

Science, Events & Evaluation
科学、イベント、評価



座長：山田 重昭



まちライブラリーツアー



I-siteなんば3階のまちライブラリーを見学。「本のない図書館」に本を集めめるシステム、このスペースで行われるワークショップ等の解説を受けた。



ツアーアに参加した宮木宗治副会長より「イベント學のすすめ」と「助成研究論文集」をまちライブラリーに寄贈した。

■B会場

| | |
|---|--|
| <p>第1グループ</p> <p>飯田 哲也 (株)電通関西支社 大規模都市型市民マラソンに関して ～大阪マラソンの誕生秘話と今後～</p>  | <p>座長：萩 裕美子</p> <p>小澤 考人 東海大学 オリンピック・レガシーと集客都市 —2012年ロンドン大会からの 経過報告および展望—</p>   |
| <p>磯井 純充 森記念財団 大阪府立大学 まちライブラリーの事例から考察する 自発的、継続的、連続的に誕生、運営、 拡大されるまちの文化交流拠点</p>  | |

| | | |
|--|---|---|
| <p>第2グループ</p> <p>福井 昌平 (株)コミュニケーション・デザイン研究所 2020年秋、関西で、「平和的で持続可能な 世界遺産の、保存と継承と活用に関する ユネスコ世界会議」の開催を、提唱する。</p>  | <p>猪池 雅憲 太成学院大学 大学における地域イベント開催の現状と課題 —「関西子どもボエムフェスティバル in 太成学院大学」を通じて—</p>  | <p>座長：山口 志郎</p> <p>宮地 克昌 東京観光専門学校 歴史ツーリズムによる地域活性化 タイムトラベル体験を 組み込んだツアーの可能性</p>  |
|--|---|---|

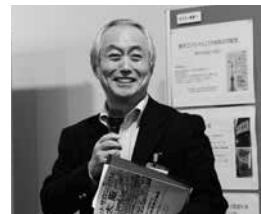
| | |
|---|---|
| <p>第3グループ</p> <p>小林 政則 イベント支援ネットワーク 'イベント・オリエンテッド・ポリシー' 伝道サロン 「キンサロ」大研究</p>  | <p>座長：森田 正人</p> <p>澤内 隆 (株)観光交通プロデュース 怪しげ名刺で相手に名を突き刺す イベント的名刺交換 ～初対面で印象づける変わり種名刺アラカルト～</p>   |
|---|---|

ポスター発表

座長：桑田 政美

口頭説明

ポスター発表のエントリーは7題。口頭説明では内容の解説やディスカッションが行なわれた。



里 幸樹 神戸国際大学

観光コンテンツとしての昭和の可能性～“神戸の昭和”を探そう～



写真左より、里幸樹さんと、共同研究者の安藤広真さん、中本千博さん、藤本英三さん。



田中 滋 サステナブルデザイン研究所 DEN&A Inc.

「Good Charism Action」「散歩サロンin東京」の活動



内田 なお子 (株)昭栄プリント

「ソーシャルイベント研究会」の年間活動報告と提案



共同研究者 小林 政則



成瀬 悠 NPOハロハロ

フェアトレードフェスタちばに見るフェアトレードイベントの研究発表



石井 崇 (株)ミドルウッド

リズムダンスの中学生の保健体育科目における必修化と
ダンス普及への取り組みについて



大根田 利夫 (株)ダーツ

出前缶バッジ制作 ー各種イベントで、バッジリ!リピーターをつかもうー



儀井 純充 森記念財団 大阪府立大学

まちライブラリーの事例から考察する
自発的、継続的、連続的に誕生、運営、拡大されるまちの文化交流拠点



※は12月8日のソーシャルイベント研究会で撮影した写真です。

受付付近のイベント学会展示ボード。会長、副会長、副理事長の「イベントロジーとは？」に対するコメントと「イベント學のすすめ」を展示了。



イベントロジーとは？

「臨床の知」あるいは「デザインの知」を求め、止まることのない創造を繰り返すこと。※イベント学会設立趣意より

木村 尚三郎 イベント学会 初代会長

「楽しみの科学・楽しみの哲学」である

堺屋 太一 イベント学会 会長
(株) 堀屋太一研究所 代表取締役

『感動』と『共感』を生み出すための “研究と実践”の行動学

成田 純治 イベント学会 理事長
(株) 博報堂 代表取締役会長

感動・興奮・楽しみを人々に提供する
「究極の文化技術」である。

橋爪 紳也 イベント学会 副会長
大阪府立大学 特別教授

“場の空気製造器であるイベント”とは何かを研究する学問である。

宮木 宗治 イベント学会 副会長
東洋大学国際地域学部 非常勤講師

心揺さぶる、体験の共創である。

江草 康二 イベント学会 副理事長
(株) テー・オー・ダブリュー 代表取締役社長

社会的貢献の視点に立ち
「最高感動創造」を追及することである。

広岡 正明 イベント学会 副理事長
TSP 太陽(株) 代表取締役社長

感動体験というエモーショナルな成果をも科学的に考察する行為である。

平野 透 イベント学会 副理事長
(株) 電通 顧問

新しい価値を創造する人と情報と技術の新結合を促す知恵

渡辺 勝 イベント学会 副理事長
(株) 乃村工芸社 代表取締役社長

イベント学会のこれまでの歩みを大型年表で展示。



大会実行委員会



委員長：橋爪 紳也

副委員長：間藤 芳樹

実行委員

| | | | | |
|--------|-------|-------|--------|-------|
| 糸魚川 雄太 | 伊東 瞳啓 | 猪野 隆秀 | 猪池 雅憲 | 今井 雄彦 |
| 内田 なお子 | 梅戸 敦 | 沖 佳保里 | 奥谷 修司 | 加藤 正明 |
| 加藤 淑子 | 菊地 浩之 | 北村 明 | 桑田 政美 | 小島 敏明 |
| 小西 功一 | 小林 政則 | 齋藤 裕二 | 崎本 武志 | 澤内 隆 |
| 新聞 昇 | 鈴木 健夫 | 竹村 公一 | 徳永 真一郎 | 中立 公平 |
| 野川 春夫 | 平野 和夫 | 平家 良美 | 政次 哲夫 | 満田 知美 |
| 三村 和範 | 宮木 宗治 | 森田 正人 | 柳澤 博之 | 矢部 信明 |
| 山口 志郎 | 山田 重昭 | | | |



ボランティアスタッフ

| | | | | |
|-------|-------|-------|-------|------|
| 岩本 麻由 | 落合 佳人 | 西川 博美 | 服部 光世 | 林 史子 |
|-------|-------|-------|-------|------|



インターン

| | | |
|---------|-------|-------|
| 大阪観光大学： | 清水 夢翔 | 松浦 華子 |
| 大阪府立大学： | 桜井 夏奈 | 吉見 淳代 |
| 太成学院大学： | 武智 咲季 | 藤本 早紀 |
| 兵庫大学： | 姫野 優 | 増井 健太 |
| 流通科学大学： | 石橋 孟 | |



(五十音順：敬称略)



「イベントロジー」
NO.32/2015.Feb

◎発行人:堺屋太一 ◎編集人:梅戸 敦 ◎発行日:2015年2月
◎発行所:イベント学会事務局 〒102-0082東京都千代田区一番町13-7(一番町KGビル3F)
TEL:03-5215-1680 FAX:03-3238-7834 URL:<http://www.eventology.org/>